

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 山崎 誘三

所属機関名 (発表時) 九州大学 臨床放射線科

発表学会名 11th Asian Society of Cardiovascular Imaging Congress (口演発表)

学会開催年月日 2017 年 6 月 1 日～ 3 日

演題名 Balloon Pulmonary Angioplasty Reduces Pulmonary Vascular Resistance in Both BPA and

Non-BPA Sided Pulmonary Arteries in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension

優秀論文賞受賞 無

学会報告記 (800字程度・写真1枚)

◇本 文

今年の ASCI (Asian Society of Cardiovascular Imaging)2017 は、6/1-3 の日程で京都で開催されました。二度目の日本開催とのこと。初日の夜に一時的に雨が降りましたが、会期中は概ね快晴で、程よく風も吹いていたため (タクシーの運転手さんによると普段はあまりふかないらしいです)、暑くもなく、寒くもなく、とてもいい気候で行われました。

今回の ASCI は scientific session のみならず、educational course や SCMR や NASCI との joint session も多く、とても充実した会になっていました。ランチョンセミナーも含め国内外のビッグネームの先生方の講演が余すことなく、配置されており、勉強になりました。スペクトラル CT や超高精細 CT など最新技術に関する講演もあり、今後もまだまだ勉強が必要なようです。

私自身は Balloon Pulmonary Angioplasty Reduces Pulmonary Vascular Resistance in Both BPA and Non-BPA Sided Pulmonary Arteries in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension というタイトルで発表を行いました。慢性血栓塞栓性肺高血圧に対する新たな治療としてバルーン肺動脈拡張術が行われるようになり、この領域は、主に日本が主体となって世界へむけエビデンスを作り上げている注目の領域です。常識的に考えて、治療をしていない側の肺血管抵抗は変化しないと思われませんが、実際は過度な血流増加、shear stress から解放されることで、治療をしていない側の血管抵抗まで改善しているということを MRI とカテーテルを組み合わせることで、人体で初めて証明しました。いくつか質問やコメントもいただけて、大変ためになりましたので、今後も順調に続けていけたらと思います。

今回、学会に参加し、諸外国の研究発表を聞く機会を頂き、とてもよい刺激を受けました。引き続き日々の研究活動に精を出して、次回の ASCI 2018 にも参加することができるようになりたいと思います。最後に今回学会参加費を御助成頂きました心臓血管放射線研究会の皆様方に、心より感謝申し上げます



ASCI 2017 の看板の前で、ASCI の人文字。間違っ C を逆向きに作ってしまったのが、筆者。